



平成 30 年度 第 6 回 南区主任児童委員会研修会の報告

「不登校生のいる家庭への支援・見守りについて」

～ 最近の子どもたちから見えてくること ～

平成 30 年 11 月 8 日 (木) 13:30 から南市民センター視聴覚室で南区主任児童委員会研修会が行われました。今回は私、ぼちぼちの会会長木村が講師としてお話をさせていただきました。

講話レジメ

1 はじめに

最近の不登校の状況と傾向・・・文科省のデータの見方

2 不登校ということ・・・誰にでも起こりうることであり特別な子どもに起こることではない

- ・不登校はいけないこと?・・・子育ての失敗?
- ・「なぜ?、どうして?、何が原因?」・・・きっかけではあるがそれがすべてではない
- ・「いけない」・「いかない」こどもたち

3, 「最近の中高校生」

○各種のアンケートから見えてくること

4. 親のありかた

- 学校、病院、関係諸機関などとの関わり
- 親子の関わり：わかっているようでわからない子どもの気持ち

5. 大人の倫理観：よかれとおもったことでも子どもにとっては・・・

：社会の常識と子どもの気持ち

6. 学校と保護者・家庭・地域との関係

7. 主任児童委員さんに望むこと 第3者の存在

- ・親を支えて欲しい
- ・親子の調整
- ・正しい情報を提供して欲しい
- ・子どもは普通に接して欲しい

8. おわりに

孤立させない・・・寄り添う姿勢 共感と理解

時間の関係上少し走って説明をさせていただいたのですが、「不登校生とは分かっているようでよく分からない存在」であったり、「どうしていいのか腫れ物に触るような感じ」から少し理解していただけたと思えました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。